

左司式論理学の体系要目

——三段階連関理論を主軸とした論理学

左司和晃

2011.7.27

論理学

A

論理学とは何か——正しく思考の習熟  
体系と史的発展——四つの論理のまとまり  
まずは認識の論理——思考の構造を見る  
三段階連関理論——抽象度による三段階との関係あり

序

論理学とその体系

- (1) 論理学とは何か
- (2) 論理学の体系
- (3) 論理学史・大観

1

認識の論理

(1) 認識とは何か

(2) 認識の三段階との関係あり——三段階連関理論

- ① 理論的操作による三段階をみちびき出す
- ② 抽象度による三段階
- ③ 対立度による三段階（抽象度のきわだつ二種）
- ④ 三段階論文づくりで使える「三段階」
- ⑤ 概念——表象——感覚
- ⑥ のぼりあり
- ⑦ キツカケことば
- ⑧ 認識の問題をはとくたウラに注目

(3) キツカケことばの訓練

- ① 抽象化と具体化の力を高める
- ② 「つまり」と「たとえば」の短文・短語・短論づくり
- ③ しごととして深しながら
- ④ 立派にして行使すること

論理学

8

① 三段階論文づくり (2のため)

- ① アリンコとは何か
- ② 科学とは何か

科学 (SCIENCE) とは何か —— 「解」の学  
 科学の本質とは何か —— 理解  
 科学の論理とは何か —— 予想実験  
 原子はいつできたか —— たれも知らない  
 磁石の「すいん」はいつから? —— 想像ありのみ

2

科学の論理

- (1) 科学とは何か
- (2) 科学の位置
- (3) 「予想実験」の三段階
- (4) 科学の再体験
  - ① 生物面 —— アリンコ
  - ② 物理面 —— 重さ・引力・磁石の引力・地球の引力・力の原理  
 ・まさつカ・滑車と仕事量
- (5) 科学のこぼれと論理
  - ① 原子と人間
  - ② 科学的知識 —— 浮力の原理・大地の変化・植物のはたらき
- (6) 科学的思考の具体相・その三段階
- (7) 「科学する姿」の四つの話
  - ① S 実習生の「磁石」授業ごのんのぼろおリ
  - ② 子どもの思いや考えた、大人の想像力ごのぼろおリ
  - ③ すいんくヤツって、どんなヤツ?
  - ④ 鏡形的科学観 —— 科学論と象徴論と規範論

② 三段階論文づくり (3のため)

- ① 大仏とは何か
- ② 宗教とは何か

論理学

(C)

宗教 (religion) とは何か——神秘的現象  
 宗教の論理とは何か——教団の成立と現象を考察する考え方  
 神々の進化——アニマチズムから一神教まで  
 祈禱方法の三段階——文字・図画・実験 (概念・表象・感覚)

3

宗教の論理

- (1) 宗教とは何か
- (2) 宗教の位置
- (3) 切り火の語
- (4) 精神的な支えとしての神頼み
- (5) 宗教のことばと論理
  - ① 『旧約聖書』の「創世記」
  - ② 天理教の中山みきの「おやしづ」
  - ③ 日蓮の「観心本尊抄」
- (6) 宗教的表現と宗教的認識
- (7) 神秘的偉大キブクリの成果
  - ① ヒトゾ偉大
  - ② ヒトリヨリニ人
  - ③ ニ人ヨリたくさん
  - ④ たくさんヨリ全負集合
- (8) 信仰とコトワサと法則
  - ① 病氣祈禱
  - ② 病魔経
  - ③ 病氣論
- (9) 神々の進化
  - ① アニマチズムから一神教まで
  - ② spirit — Spirit — God
  - ③ ゴッドとは何か
  - ④ 二大哲学 — 概念論と唯物論
  - ⑤ お告げと祝うののぼりおり

(10) 年中行事に見るアニミズム

(11) 絵馬に見るイメージの力

(12) 呪文は日常の苦を救う

(13) 祈禱方法の三段階

◎ 三段階論文づくり (4) のために

コトワザとは何か

論理学

D

コトワザの論理とは何か — 感性的論理  
感性的論理とは何か — 事や物まがって理屈をつくり考える  
コトワザとは — 決まり文句  
コトワザの三大大分類とは — 知識コトワザ・思想コトワザ・遊びコトワザ  
三大大分類とは — 上の方は、江戸いろは・尾張いろは

4 コトワザの論理

(1) コトワザとは何か

(2) コトワザの位置

(3) 感性的論理とは何か

(4) 伝承を信頼しているコトワザ

(5) 三大大分類

(6) コトワザの周辺文化

(7) コトワザの世界をつかみとる

- ① コトワザの三大大分類 — 知識・思想・遊びの各コトワザ
- ② コトワザに表現上の特徴 — 類詠・村諺・長大化・短縮化・七五調・比喩法、等々。

(8) コトワザの三段階構造づくり

- ① コトワザ一個一のがらみとして進める
- ② 目途と見本
- ③ 練習と実践

(9) 好きなコトワザと嫌いなコトワザ

- ① コトワザとの関わりを自覚する
- ② 好きなコトワザとその理由 —— よいコトワザの見本があるか
- ③ 嫌いなコトワザとその理由 —— 批判精神の浮上はよいが

(10) 絵コトワザ

- ① コトワザを絵図化する (絵解きコトワザともいう)
- ② コトワザにみる表の世界と裏の世界
- ③ 表の世界 (ことば) に触発された絵コトワザ
- ④ 裏の世界 (意味) に着目しての絵コトワザ

(11) 創作コトワザ

- ① 論理の発見と表現の工夫
- ② 創作コトワザの作品集
- ③ 型はめ創作法と自由創作法
- ④ もじり創作法と引用創作法

⑥ 三段階論文づくり (⑤のため)

一生とは何か

論理学

E

① (1) 一生の論理とは何か —— 竹節目とポイントに見ていく考え  
 一生親のことは —— 自然的一生親と主体的一生親  
 一生の本質とは —— 著作原簿の見本

5 一生の論理

(1) 一生とは何か

(2) 発見の三種

- ① 科学上の発見 —— 科学的節目
- ② 前科学上の発見 —— コトワザ的節目
- ③ 非科学上の発見 —— 祝式初め的節目

論理学

F

(後編②)

- (3) 三者一致の節目——身体的節目と社会的節目と精神的節目と
- (4) 節目とは何か——「否定・保存」のあたり、この生の更新
- (5) 節目の発見にみる経験的知見と科学的知見
- (6) 「生論・人生論」のみを三段階
- (7) 伝承コトワザの一生観

③ 三段階論文づくり、ほか

① 私の人生とは何か (全体のまとめとして)  
 ② 「ふたつどヒトツ」の発見 (⑥のため)

6

弁証法の論理

- (1) 弁証法とは何か
- (2) 理論的意味づけ
- (3) 弁証法の三段階

曰経験——弁証法エピソード  
 曰コトワザ——弁証法コトワザ  
 曰法則——対立の統一

- (4) 弁証法コトワザ (具体的な物を通して「普遍」を押し出す)

**前提**——万物変化——月がむらむら花に風はかき難きは人心  
 2 万物連関——大風が吹けば桶屋が喜ぶ・隣りの不幸ツルの味  
**根本**——対立の統一——長所は短所・空き物は入れ物  
**主要**——量質の相互転化——三入寄れば文珠の知恵・其茶も湯がれば毒となる

弁証法の論理とは何か——「ふたつどヒトツ」で見えていく考え方を  
 弁証法 (Dialektik) の本質——すべては矛盾によって起る  
 形式論理の明白な本質とは——同一・矛盾・排中・充足理由  
 弁証法論理の大法則とは——量質転化……  
 まゆりは弁証法の事例とムはいた

5 村立物の相互浸透 — 人を見て法を脱け・持ち物はまに似る  
6 番定の否定 — 雨降ると地面まる・古きと新しきを知り

(5) 弁証法へのアプローチ

① 反対語探し

- 1 いわゆる反対語を探す — (村概念・対語) 明のい ↓ 暗の
- 2 反対語の熟語を探す — 陰陽・天地・抽象具象・消化吸収
- 3 組言葉を探す — (組概念・組語) 低中高・理性↑悟性↓感性
- 4 ニつで二つを探す — 「いびの口」は出口と入り口で二つ

② 弁証法「ことば遊び」

- 1 ものはづけ — 小さくて大きいものは? (夜空に輝くお星様)
- 2 前句づけ — 「夜になつたよと痛むこの歯」抜きたくも大ク 抜きたくも大ク
- 3 などなど — 「い」ときたら「い」で、「い」なら「い」ときたら「い」のナマニ。  
(刀のサヤ・鉛筆のサック・お風呂のフタ)

③ 対蹠と類蹠

1 反対・対蹠 — (対蹠) 善は悪げ ↑ 悪は善穴へはいらず  
の意味は二つで表現は多様 — (二即多・類蹠)  
「かハガリの日がせうがリハケハケ三八日当たって砕けろリ丁お半、

④ 弁証法「川柳」

- 1 川柳のつかみ取り — 泣く泣くもよい方をとる形見わけ
- 2 川柳のネタが批判 — 大水はうつわものには従わず

(6) 弁証法エッセイ

① 喜びの弁証法 (ルソー) 「極端な喜びは私たちを叫ばせるよりも・・・」

② 感情の弁証法 (ヘーゲル) 「苦しみのきゆめと喜びのきゆめとが・・・」

③ 精神界の弁証法 (ヘーゲル) 「最も厳格な法は・・・」

④ 社会行動の弁証法 (小松理輝) 「結果よめた二万人のエネルギーは、どこ切れたらよ・・・」

⑤ 芸道の弁証法 (世阿弥) 「湯気の時分な、陰気を生ずること・・・」

⑥ 梅園哲学の弁証法 (梅園) 「行はばとせ、近づくこと遠ざかることなばとせ」。

⑦ そのほかの覚え書き

1 モノはモノであつてモノでない (形見・十手・お守り・・・)

- 2 飽きっ・イヤなるとハウこと (「反トのオオオオ」)
- 3 グズの大オ (南神織正)
- 4 1たす1は2にならな (三浦トモ)
- 5 マイナスこそプラスの源
- 6 難しいが楽しい
- 7 いっどもさうだとは限りませんよ Not always (チェスタートン)